

2023 年度事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

2023 年度は、新型コロナウイルスによる行動制限が撤廃され、社会・経済活動が正常化する中、期初計画通りの事業を遺漏なく実施いたしました。

収益面においては、低金利の環境が継続している中、債券の入替による利息減少の抑制と株式の配当増加により特定資産運用益は増加しました。主力の「統計普及・啓発事業」では、定期刊行の 4 書籍を発刊しました。電子書籍の売上（売上割合 8%弱）は増加しましたが、紙版書籍は販売部数の長期減少傾向の影響を受けて売上が減少したため事業収益は減少しました。

費用面では、費用対効果の視点から一部の広告費用を削減し、前年度実施したリノベーションの反動などもあり、全体の費用は減少しました。

この結果、公益目的事業に関しては公益法人認定法に定める『収支相償』を満たすとともに、法人運営経費を含めた財団全体の収支は評価損益等調整前で赤字でした。

I. 事業の概要

当財団は、第一生命保険の創立者で、生命保険事業の発展に偉大な功績を残すとともに、統計の普及、公衆衛生や社会教育の向上、農業の振興など各方面に多大な貢献をした故矢野恒太（以下故人と記載）の事績を顕彰し、その思想を普及させるため、各種の記念事業を行っています。

2023 年度においても事業計画に基づき、定款に定められた各事業を次のとおり実施しました。

II. 個別の事業内容

1. 統計普及・啓発事業 <公益目的事業>

(1) 統計データブックの編集・刊行

当財団の中核事業として、1927 年に故人が創刊した「日本国勢図会」の他、3 種類の統計データブックを編集・発行し、統計の普及・啓発を図りました。

また、多様な購読者のニーズに応える取り組みとして、現在ではすべての統計データブックにおいて、電子書籍を同時に発行しております。

さらに、「日本国勢図会」及び「データでみる県勢」について、当財団のホームページから一部統計データをエクセル形式でダウンロードできるサービスを提供しております。

本年度発行書籍、部数並びに本年度末時点での書店販売部数は次のとおりです。

	書籍名	発行日	版数	発行部数	販売部数	前年度販売部数	対前年比
①	日本国勢図会	6/1	81	17,000	10,906	12,174	89.6%
②	世界国勢図会	9/1	34	11,000	7,251	8,248	87.9%
③	データでみる県勢	12/1	33	7,500	4,231	4,806	88.0%
④	日本のすがた	3/1	55	25,000	11,837	12,898	91.8%
	合計			60,500	34,225	38,126	89.8%

全書籍、読者カード（郵便はがき）にて読者の方々の意見・要望を編集に活かすようにしており、意見・要望には、その章を担当する編集職員より文書にて回答しています。

(2) 統計データブックの贈呈

在外教育施設への教育支援

従来、海外子女教育活動の賛助として、当財団発行の「日本国勢図会」、「日本のすがた」、「世界国勢図会」の3書籍を郵送で寄贈していましたが、2022年度からは電子書籍による提供に切り替えました。各書籍の発行と同時に全日制日本人学校と補習授業校および私立校、計209校に対し、電子書籍のクーポンを送付し、年間合計1,254冊を提供しました。

(3) 統計関連団体への出捐

日本国内における統計の普及・啓発を図る事業への賛助として、青少年への統計の普及と、統計の表現技術の研鑽を図るため、全国の小・中・高校生等を対象に実施される「統計グラフ全国コンクール（公益財団法人統計情報研究開発センター主催）」が10月に開催（第71回）され、賞金ならびに賞品を贈呈いたしました。

なお、2022年度をもって終了しました大内賞の後継として、「一般社団法人日本統計学会」の賛助会員となることについて2024年3月11日開催の第36回理事会にて決議されました。

2. 表彰・奨学金事業 <公益目的事業>

(1) 矢野賞

故人は農家の子弟に実際に即した農業知識を授けることを目的に、1934年、郷土岡山県に三徳塾を設立しました。当財団はその遺志を継承して、岡山県において農業の振興に貢献した模範農業青年に1954年より毎年「矢野賞」を贈呈しています。2023年度も岡山県知事より推薦された下記3名を、第70回受賞者に決定しました。

贈呈式は2023年10月20日に「第一生命保険株式会社日比谷本社」において実施し、各人に賞状、賞牌および賞金100万円を贈呈し、その功績を表彰しました。

板野純也	岡山市(備前)	野菜経営(メロン)
山下和磨	岡山市(備前)	水稻経営(すいとう)
橋本彰宏	赤磐市(備前)	野菜経営(契約キャベツ)

累計受賞者数は230名になりました。

なお、2024年度以降、受賞候補者の年齢要件を45歳未満に見直すことについて関係者間で協議し、2024年3月11日開催の第36回理事会にて決議されました。

(2) 岡野敬次郎博士記念奨学金

故人が、第一生命を設立するにあたり、よき理解者・協力者であった故岡野敬次郎博士の遺徳を顕彰するため、博士が教鞭を執られた東京大学・中央大学の大学院生を対象に、1954年に奨学金制度を設け現在に至っています。

本年度も、両大学から各3名合計6名の大学院生の推薦を受け、理事会にて選考のうえ各人年額60万円、総額360万円の奨学金を交付しました。

(3) 池田謙三翁記念奨学金

故人が、第一生命を設立するにあたり、多大なご協力をされ、その初志達成に尽力された故池田謙三翁の遺徳を顕彰するため、故翁の出身地、兵庫県豊岡市出石町所在の県立出石高等学校の生徒を対象に、1957年に池田奨学金制度を設け現在に至っています。

本年度も学校長より、高校2年在学の生徒5名の推薦を受け、理事会にて選考のうえ、昨年度選考の高校3年在学の生徒5名と合わせ合計10名に、総額120万円の奨学金を交付しました。

3. 故人に所縁のある関連農業団体への支援事業・関連施設の維持・管理事業

<その他事業>

(1) 「恒心会」及び「三徳園友の会」への支援（補助金の支給）

恒心会は、矢野賞、三徳賞、新三徳賞の受賞者を会員として組織されています。会員はそれぞれの地区における有力な農業指導者であり、地域農業の振興に大きく貢献しているとして県当局からも後援されています。

本年も会員相互の研鑽や地域活性化活動の助成金として、申請のあった35万円を支給しました。

三徳園友の会は、恒心会および三徳塾同窓恒親会の会員で、かつ故人の三徳塾開設の精神を顕彰するという目的に賛同する者を会員として組織されています。本年度は、総会・研究会の会場、会報作成並びに現地研修会に要した費用のうち、同会より申請のあった50万円を補助しました。

(2) 「三徳塾同窓恒親会」への支援（新三徳賞）

「三徳塾同窓恒親会」は、三徳塾および岡山県立三徳農業研修所の修了者を会員とした同窓会組織です。

当財団では、1954年度から1964年度まで「三徳賞」として、三徳塾卒業生の中から優秀な青年農業者を表彰していましたが、三徳塾が岡山県立農業大学校に吸収されたことにより、1965年度より「三徳賞」は「矢野賞」に併合されました。

しかし、塾卒業生の中で長年農業に携わり現在も優れた実績を上げている方も多数おり、三徳塾同窓恒親会を始め岡山県当局からも「新三徳賞」設定の要望を受け、1998年度に創設しました。

本年度も“新三徳賞選考委員会”より推薦された下記1名を、第26回新三徳賞受賞者に決定しました。

贈呈式は、2024年1月23日に岡山市「岡山県立青少年農林文化センター三徳園内矢野講堂」において実施し、賞状、記念品を贈呈し、その功績を表彰しました。

石坂 廣海 久米南町（美作） 水稻・野菜経営

累計受賞者数は50名になりました。

なお、塾最後の卒業から半世紀以上経過したことから候補者も減少してきており、2023年度をもって「新三徳賞」を終了することについて関係者間で協議し、2024年3

月 11 日開催の第 36 回理事会にて決議されました。

(3) 故人を記念し、保存すべき施設の維持および管理

①故人の生誕地跡にはかつて上竹原町公民館がありましたが、2000 年 3 月に老朽化により取壊されました。建物撤去後は石碑、樹木等を残しており、近隣の先祖墓所を含め、その維持・管理を上竹原町内会と三徳塾同窓恒親会にお願いしております。その費用として上竹原町内会に 10 万円、三徳塾同窓恒親会に 20 万円、合計 30 万円を支出しました。

②故人及び池田謙三翁の墓所の維持管理を行いました

III. 法人管理部門

1. 役員等に関する事項

2023 年度末現在の役員、評議員は次のとおりです。

役員（理事 8 名、監事 1 名） （五十音順）

理事長	渡 邊 光一郎			
常務理事	木 下 秀 之			
理 事	江 頭 憲治郎	大 島 卓	岡 野 學	
	西 澤 敬 二	根 道 博	舟 岡 史 雄	
監 事	菱 田 真			

評議員（8 名） （五十音順）

稲 垣 精 二	大 橋 正 春	生源寺 眞 一
隅 野 俊 亮	林 省 吾	福 原 紀 彦
山 口 隆 司	美 添 泰 人	

2. 役員会等に関する事項

2023 年度に開かれた理事会および評議員会は次のとおりです。

(1) 理事会

- ① 第 34 回理事会は、決議省略の形式に従い 2023 年 5 月 25 日付にて、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

- ア. 2022 年度事業報告及び財務諸表等承認の件
- イ. 公益目的事業の一部の廃止の件
- ウ. 定時評議員会日時及び場所並びに目的である事項の件

② 2023年6月19日、第35回理事会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

- ア. 理事長及び常務理事選定の件
- イ. 岡野敬次郎博士・池田謙三翁記念奨学金、奨学生選考の件

③ 2024年3月11日、第36回理事会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

- ア. 2024年度事業計画及び収支予算等承認の件
- イ. 特定資産（公益目的保有財産）の一部取崩の件
- ウ. 公益目的事業（統計普及・啓発事業）の一部の内容変更の件
- エ. 公益目的事業（表彰・奨学金事業）の一部の内容変更の件
- オ. その他事業の一部の廃止の件

(2) 評議員会

① 2023年6月19日、第13回評議員会を開催し、次の議案につき承認可決されました。

<決議事項>

- ア. 議長選出の件
- イ. 議事録署名人選出の件
- ウ. 2022年度事業報告及び財務諸表等承認の件
- エ. 理事選任の件
- オ. 監事選任の件
- カ. 評議員選任の件

(3) 登記事項

① 2023年6月19日付理事、評議員の任期満了に伴い、選任された5名の重任理事、3名の新任理事（大島理事、木下理事、渡邊理事）、選任された6名の重任評議員、2

名の新任評議員（隅野評議員、林評議員）、及び2023年6月19日付選任された新任監事（菱田監事）の変更登記を行いました。

② 2023年6月19日付選定された代表理事（渡邊理事長、木下常務理事）の代表理事登録を行いました。